

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： ESOP-109

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
食道がん	DCF療法	21～28日間	【進行再発】 規定なし 【術前】 2コース	☒ 進行/再発 ☐ 術後補助化学療法 ☒ 術前補助化学療法 ☐ 放射線併用化学療法 ☐ その他	高	Oncology 80: 307-13, 2011 J Thorac Oncol 5: 122-28, 2010 Anticancer Res 32: 1403-8, 2012 Cancer Sci 105: 1189-95, 2014

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	デキサート アロキシ 生理食塩液	9.9mg 0.75mg 100mL	点滴静注	30分	↓																											
②	ドセタキセル 生理食塩液	70mg/m ² 250mL	点滴静注	60分	↓																											
③	5-FU 生理食塩液	700mg/m ² 1000mL	点滴静注	24時間	↓	↓	↓	↓	↓																							
④	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴(側管)	60分	↓																											
⑤	マンニトール	300mL	点滴(側管)	60分	↓																											
⑥	シスプラチン 生理食塩液	70mg/m ² 500mL	点滴(側管)	60分	↓																											
⑦	フィジオ70	500mL	点滴(側管)	60分	↓																											
⑧	デキサート 生理食塩液	6.6mg 500mL	点滴(側管)	60分		↓	↓	↓	↓																							

<注意事項/備考>

- ✓ 術前化学療法では計2コースが目安
- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ 聴力障害（CDDP）：総投与量300mg/m²以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑
- ✓ 粘膜障害（5-FU）：下痢や口内炎の発現リスクあり
- ✓